Flexi-Disc: Sonorama



TITLE

Image 1 A Magazine That Makes Sound (Oto no deru zasshi 音の出る雑誌)

DATE

1959-11-25

CREATOR

Unknown

PUBLISHER

Asahi shimbun 朝日新聞

RIGHTS

Asahi shimbun. Public Domain.

DESCRIPTION

Ad for Asahi Sonorama's inaugural issue

百人のお客があり

た。話が「朔日ン 昨日のことでし

うも、いろいろの気持ちを話し と、彼はなびの色を扱わしなが てくれほした。 ノラマーの知刊のなになります

て、担先たりくちびるだりでは、冊(こう〇ページ)つくるのに んの登録もないこと。そしてこ むしかないというのです。 か、または点学に択してもうう れを当に出して認んでもらう は四字響など級冊あつうと、何 まず目の見えない者にとって たい知識もつい中途単純になる一分の一の七万人だけで、残りの

私の弦にはよく か出来ない地域もあるとのこと
それがひどくなり、本を集命と れだからといって押して、もつ不足を、かとつばかりです。ね 一度では郊外切れ送せんが、そも、どうにもならない点学者の 一度というようなことはなかな

でした。 する
甘大学生
辺にとって
は
致命

すが、それも一匹三世と繰り返 ラジオは古人に知しいもので 的なことだとは、ほんとにうな

ずけるととです。

してはくれず、そのため、知り もつ一つは、全国一〇万の日

朝日ソノラマ」創刊と盲人等をは ------ A人はII

・一方、点字響があれば、その部 決はつくのですが、手掛きで一 といこと 一〇〇時間もかかり、しかもて うに定かせないこうです。 にあるので、選挙の発展できる別 人地は文字通り「文印」の状態

れ一冊しか出来ないので、全国 ペートーキング・ブック 批出等では、点字書はもちる アメリカやイギリスなどの福

も、時間的に都合がつかなかっ

たとえぬ切な遊び手がいて

告知もちたというととです。 で称えて届けられ、郷が襲も附 おき、希望者にはプレーヤーは の意思収込んで図書館に備えて

に近こうは眺着数の敵地で一層

とです。 されたととたので、うれしいと 人と私造品がおにとっては、多 年の郡の半分が、日本にも宗説 とんど出る「ソノラマ」は皆

たり、北たむずかしい本などはは、謎の感謝を含さけながらなり時間の本でも、それを記る。此・主婦) 多数の点状态仕者の総合会に(前る本)が国後で作られ、か(山西田県町・鈴木光子・記 ん。どうにかならぬものでしょ うか。……というととでした。 すから、例人の手には食えませ はどうでしょうか。 プレーヤー てほしいととです。しかしに成 能できる古人が一人でも乏くい 一台といってもなかなか高価で あどの残り半分は、これを順

TITLE

Image 2 Asahi Sonorama's First Issue and the Blind ('Asahi sonorama' sōkan to mōjin「朝日 ソノラマ」創刊と盲人)

DATE

1959-12-03

CREATOR

Unknown

PUBLISHER

Asahi shimbun 朝日新聞

RIGHTS

Asahi shimbun. Public Domain.

DESCRIPTION

Letter explaining the significance of Asahi Sonorama's for the blind.